

第四十一回帝國議會 衆議院 都市計畫法案外一件(都市計畫法案)委員會會議錄(速記)第五回

會議

大正八年三月十五日午前十一時三十五分開議

出席委員左ノ如シ

小山 溫君 坪田 十郎君 若尾 幾造君
小山田信藏君 前田 米藏君 山内 範造君
岩崎總十郎君 則元 由庸君 廣岡宇一郎君
鳩山 一郎君 赤尾 彦作君 兒玉 右二君
小川郷太郎君 河野 徹志君 越山太刀三郎君
横田 孝史君 高木 正年君 櫻井兵五郎君
戸井 嘉作君 横山勝太郎君 森 秀次君
磯貝 浩君 小山 松壽君 西川太治郎君
白河 次郎君 高木益太郎君

同月十四日委員川崎安之助君辭任ニ付其ノ補闕トシテ同日西川太治郎君又今十五日委員井坂光暉君委員米田穰君委員磯部尚君委員三輪市太郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ山内範造君廣岡宇一郎君小山田信藏君赤尾彦作君孰モ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

內務大臣 床次竹二郎君

出席政府委員左ノ如シ

內務書記官 池田 宏君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

都市計畫法案

市街地建築物法案

○委員長(法學博士小山溫君) 是ヨリ開會致シマス櫻井君質問ガ殘テ居ル譯デスナ

○櫻井兵五郎君 本法ノ第五條ニ依リマス本計畫ノ執行ハ行政官廳ガ之ヲ執行スルト云フコトニナリ居リマス

ガ、而シテ此行政官廳ハ、中央ノ官廳モ含メ、又自治體モ含ムト云フ、私ノ懸念致シマス所ハ本案ノ計畫ノ執行ニ屬スル仕事ハ、盡ク地方自治體ノ爲スベキ仕事ナル、唯、已ムヲ得ザル場合ニ於テ、中央官廳ガ之ヲ執行スルト云フコトハ已ムヲ得ナイカ知リマセヌガ、無論原則トシテ自治體ニ執行ニ當ラシムベキモノナル、斯様ニ思フノデス、單ニ五條ノ條文タケデハ甚ダ曖昧ナル、ソレデ中央官廳ガ是モ直接ヤル是モヤマルト云フ傾向ヲ生ズレバ、甚ダ面白クナイ現象ト

思フノデアリマス、此點ニ關シテ內務大臣ノ御辯明ヲ承テ置キタイ、ソレカラ次ニ今一點御尋ヲ申シタイノハ、我國ノ此國民經濟發展ノ趨勢カラ考ヘマス、今後ハ非常ニ都

市ガ急速ノ進歩ヲ以テ發達スベキモノト思フノデアリマスガ非常ナ勢ヲ以テ發達シテ都市生活ノ方ガ餘程多クナッテ來ルダラウト思ヒマスガ、先頃ノ內務大臣ニ御尋致シマシタ所ニ依レバ、本法ノ適用ハ六大都市ニ限ル又政府委員ノ御説明ニ依テモ外カラ希望デアレバ、或ハ本法ノ適用ヲスルコトニナルカモ知レヌト云フ、消極的ノ御意見デアリマス

○國務大臣(床次竹二郎君) 第一ハ御尋ノ通りデス、是ハ矢張地方ノ自治體ニ於テ原則トシテヤルベキモノト考ヘマス、其次ハ六大都市以外ニモ此法ヲ成ベク適用スルヤウナ氣運ヲ作リタイ、斯ウ云フ御話ノヤウデ、ソレハ宜シウゴザイマス

○横山勝太郎君 極メテ簡單デアリマス、過日來內務大臣ニ一言御尋ヲシタイト考ヘテ居リマシタノデスガ、御多忙ノ折柄其機ヲ得マセヌデシタ、本日幸ニ機會ヲ得マシタカラ、一言タケ質問ヲ致シタイ、ソレハ本會デモ質問モ致シマシタシ、ソレカラ尙ホ此委員會ニ於テモ政府委員カラ御答モアリマシタ、私ノ聽カントスル所ハ、詰マリ此都市ニ於ケル遊廓デアリマス、屢、申上ゲテ甚ダ恐縮ニ存ズル點モアリマ

スガ、併シ未ダ會テ內務大臣ヨリ詳細ナル答辯ヲ得ルコトハ出來マセヌカラ、此機會ヲ利用致シマシテ、內務大臣ノ眞意ノアル所ヲ承リタイト思フ、其委シイ事ハ數回ノ質問モ致シマシタシ、又多少ニ拘ラズ御答辯モアリマシタカラ、ソレハ省クト致シマシテ、本案ニ關係アル問題、即チ遊廓ヲドウスルカト云フコトノ點タケデ、其他ノ公娯問題ニ關スル行政事項ニ付テハ全部此席デ御尋ハ致シマセヌ、唯、單ニ遊廓ヲドウスルカト云フ一點ニ付テ內務大臣ノ御意見ヲ承リタイノデ、私ガ之ヲ申上ゲマス意味ハ屢、申上ゲマシタカラ、

是ハ詳イ事ハ申シマセヌガ、內務大臣ノ御答辯ヲ得ルニ當リマシテ、御參考マデニ東京ニ於ケル遊廓ノ歴史ト云フヲ、極メテ簡單ニ申シマス、唯今ノ吉原ト云フモノハ、明治二十年十月ニ始テ出來マシタ、約二百年前デアリマス、ソレカラ洲崎ハ御承知ノ如ク元本郷ノ根津ニ在ッタノヲ明治二十年カ二十一年頃ニ彼處ニ移轉シタデアリマス、此新吉原ヲ造リ又洲崎ヲ根津カラ移サレタル理由ト云フモノハ、漸

次此都市ガ繁華ニナッテ來テ、人口稠密ノ場所ニ斯カル機

關ヲ置イテハ宜シクナイト云フコトガ當時ノ官憲ノ考デアリ

マシテ、淋シイ處ニ置キ、即チ人家稠密ノ場所ニ斯ノ如キモ

ノヲ置カナイデ、人口ノ稀薄ナル場所ニ置クト云フ方針デ

アタ、即チ此唯今ノ吉原ノ出來マスル前ハ日本橋ノ唯今

デ申シマスル高砂町、浪花町ニアツタモノヲ漸次人口ガ稠密

ニナッテカラ、唯今ノ處ニ移轉シタデアリマス、ソレカラ根

津モサウデアアル、元ハ非常ニ淋シイ處デアッタガ、之ヲ洲崎ニ

移轉セシメタル理由ハ其當時ノ文書ニ依テ見マスルト、斯

ウ云フコトニナッテ居リマス「初メ年月ヲ期シテ此地ニ遊廓

ヲ許可セシハ不毛ノ地ヲ拓キ宅地ト爲スノ便利ヲ圖リタル

モノナルモ遊廓永續ノ目的ニアラザリキ而シテ今ヤ、此地帝

都ノ中央ニ位スルニ至リ上野公園大學普通ノ人家等遊

廓ノ四方ヲ環ラシ又往來ノ如キ僻隅ノ場所ニ非ス因襲ノ

久シキ人亦之ヲ怪マザルガ如キモ風俗ヲ紊リ青年子弟ノ教

育ヲ妨害スル之ヨリ甚シキハナシ然ルニ風儀教育ヲ重ンズ

ル今日ニ在リテ一時ノ情實ニ拘ハリ之ヲ存置スルハ行政ノ

得策ニ非ズト云フニ在リ「下云フコトガ當時ノ官憲ノ御考

デアッタラシ、即チ始メハ人家ガ少クシテ淋シキ場所デ

アッタガ、故ニ遊廓ヲ許シタガ漸次上野公園ガ發達シ或ハ

其所ニ高等ノ學府ガ出來ルト云フ關係カラ、遂ニ之ヲ洲崎ニ移シタ、斯ウ云フコトデアリマス、今日ノ狀態ハドウデアアルカト申シマス、御承知ノ如ク淺草ノ中央ニアリマシテ其周圍ニハ何十萬ト云フ人間ガ住ンデ居ルデアリマス、而シテ大學カラ多少ノ距離ハアリマスガ、電車等ノ便利ガアッテ餘リ遠キ距離トハ云ヘナイ場所ニナッタ、幕府時代ノ此明治二、三年頃即チ今カラ百六七十十年前頃ノ官憲若クハ此明治二十年頃ノ官憲ノ考ニ依リマシテモデス、斯ウ云フ所謂遊廓ノ機關ハ成ベク此邊鄙ナ方ヘ持テ行クト云フ方針ヲ執ル方ガ宜シイト私ハ考ヘル、私ノ見地カラ申シマスレバ全然廢メテ賞ヒタイノデアリマス、サウモ行カナイト云フコトデアリマス、此都市計畫ヲスルニ就テ都市行政ノ上カラ考ヘマシテモ、ドノヤウニカ之ヲ處分シナレバイカ又問題ト考ヘマス、警視廳ノ官史ノ御話ガ能ク新聞ニ出テ居リマス、其御話ニ依ルト詰リハ非現代ガ設備デアルト云フコトヲ言テ居リマス、私カラ申上ゲマスレバ詰リ奴隷ノ公開市場デアアル、斯ウ申スノデアリマス、警視廳ノ官史モ既ニ非現代ノモノト認メ、又吾々ノ如キ者ニシテモ餘リ感心ヲシナイト云フノデアリマス、無論床次內務大臣ガ斯様ナ設備ニ

對シテ大ニ善キ機關トシテ賛成セラル、理由ハナインデアリマス、今カラ百六十七年前ノ幕府ノ官吏ニシマシテモ、明治二十年頃ノ日本ノ官吏ニシマシテモ、人家稠密ノ處ニ斯カル惡處ヲ置イテハイカスト云フコトヲ考ヘテ居リマシタ、時勢ノ進歩シタル今日ニ於テ而カモ床次内務大臣ニ於テ、百六十七年前ノ幕府ノ官吏ニ如カスト云フコトハイカス、明治二十年頃ノ官吏ニ如カスト云フコトハイカス、無論ソレ以上ノ堂々タル内務大臣デアル、此都市計畫法ノ通過ニ依リマシテ、即日其遊廊ヲ撤廢スルコトハ無論出來ヌコトハ明瞭デアリマス、少クとも或時期ニ至レバ、近キ將來ニ於テナンタク之ヲ改善ヲ加ヘルトカ、移轉スルコトカ云フ御方針ガナクテハナラヌデアリマス、先月二十八日ノ國民新聞ヲ御讀ミニナリマシタカ、日本ノ文部省ノ官吏ガ英國ノ倫敦ヘ行キテ小學校ノ教科書ヲ見ルト「日本ノ貴婦人ノ風俗」ト云フ見出しデ遊廊ノ娼妓ガ盛衰シテ居ル寫眞ガ掲ゲラレテ居ル、其前ニハ爛德利カ何カ置イテアッテ一杯飲シテ居ル所デアル、是ガ而モ英國ノ小學校ノ教科書ニ日本ノ貴婦人ノ風俗トシテ出シテアルト云フコトガ、現ニ國民新聞ニ出テ居ル、實ニ是ハ國辱デアルト思ヒマス、而モ床次内務大臣ノ治下ニ於テ斯ウ云フ事ガ新聞ニ掲載セラル、コトガアッテハ、貴下ノ信用カラ云フデモ甚ダ遺憾ニ思フ、サウ云フヤウナ國辱問題ヲ起スノハ何ノ爲デアルカト云ヘバ、遊廊ノ如キ公開ノ奴隸市場ヲ置イテ居ルカラデアル、現ニ日本ノ大使館カラ英國ノ官憲ニ向テ抗議ヲ申込シタルト云フコトデアリマス、ナンボ英國ノ我大使館ガ外國ニ於テ抗議ヲ申込シタル所デ、日本ノ内地ニ斯ウ云フ制度ヲ置イタル仕方ガナイン、人種撤廢ナド、云フ大問題ヲ叫ンデ居ルヤウデアルガ、日本内地ニ於テハ現ニ五萬人ノ奴隸ガ居ル、今日ノ制度ハ人權モナケレバ自由モナイン、私ガ質問ヲシテモ御答辯ニナリマセヌケレドモ、彼ノ内務省令ト云フモノハ憲法ニ背イテ居ルト云フコトハ明瞭デアリマス、法學通論ノ一頁ヲ讀ンダ者ハ知ッテ居ル筈デアリマス、即チ國家ノ體面カラ言フデモ、人權ノ上カラ申シテモ、都市行政カラ申シテモ、都市計畫ノ上カラ申シテモ、憲法ノ上カラ申シテモ、何レニシテモ、ハ近キ將來ニ於テ、ドノヤウニナサネバナラヌ事項デアルト考ヘマス、本會議ニ於テモ質問致シマシタカ、マダ其點ニ付テ御答辯ガアリマセヌ、幸ヒ御列席ノ機會ヲ得マシタカラ、此點ニ付テ徹底シタル御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(床次竹二郎君) 遊廊地ノ地區ヲ何處ニドウスルガ宜イカト云フコトニ就キマシテハ、今此法律案ニ關聯シテ御答スル必要ハナイント思ヒマス、此間御尋ガアッテ御答シテ置キマシタ、獨リ遊廊地ニ限ラズ風紀ナリ、風致ナリ其他ノ地區ヲ設定スルニ就テハ、ソレハ沿革モアルコトデア

リマスカラ、此計畫法ヲ實行シタカラト云フテ、一朝ニシテ總テニ激變ヲ來スト云フコトハ餘リ望ムベキコトデナイト私ハ思フデアリマス、自然又此計畫法ガ施行サレテ、夫レ都市計畫上議論ガアル時分ニハ、其時ニ相當ニ審議ヲ盡サレテ宜カラウト思ヒマス、ソレデ遊廊論ハ此所デハ問答ヲ御斷リシマス

○橫山勝太郎君 宜ロシイ、分リマシタ

○委員長(法學博士小山溫君) 御報告ガアリマス、ソレハ委員ノ更迭デアリマス、川崎安之助君、磯部尚君、三輪市太郎君、米田稯君、井坂光暉君是ダケガ退カレマシテ西川太治郎君、廣岡守一郎君、赤尾彦作君、山内範造君、小山田信藏君此諸君ガ入りマシタ、是ダケ報告致シマス、ソレデハ質問ヲ終リマシテ是ヨリ計議ニ入りマス

○小山松壽君 簡單ニ意見ヲ申述ヘマス、本法ハ立法ノ趣旨ニ付テハ同感ヲ表スルモノデアリマス、併ナガラ此事業ヲ速成致シマスル上ニ於テ過日來大藏大臣、内務大臣ノ御辯明ヲ聽キマシタカ、其質疑應答ニ於テ大要ハ悉サレタ譯デアリマス、内務大臣ノ御辯明ニ對シマシテハ吾ハハ滿腔ノ敬意ヲ表シ、且其辯明ヲ信ズル者デアリマス、唯、獨リ大藏大臣ノ御辯明ニ依リマシタル、此計畫ヲ遂行スル上ニ於テ甚ダ疑義ヲ生ズル譯デアリマス、幸ニシテ主務大臣床次君ノ御就職中ニ於キマシテハ此意見ヲ固執スルノ必要ハナイント信ジマス、併ナガラ此法律ニ就テハ永久ニ互リ其法ノ精神ヲ明カニシテ置ク必要ガアルト考ヘマス、カラシテ、即チ都市計畫法第九條都市計畫區域內ニ存スル國有河岸地ニシテ公共ノ用ニ供セラル、モノ云々トアリマス、中「河岸」ノ一字ヲ削除致シマス、サウシテ之ニ「土」ノ一字ヲ加ヘマシテ其結果國有土地ニシテ公共ノ用ニ供セラル、モノ云々ト修正致シマス

○委員長(小山溫君) 一寸モウ一遍……

○小山松壽君 第九條中都市計畫區域內ニ有スル國有河岸地ニシテ公共ノ用ニ供セラル、云々トアリマス、ソレ「河岸」ノ二字ヲ削リ「土」ノ一字ヲ加ヘマシテ……

○委員長(小山溫君) 「河岸」ノ二字ヲ「土」ニ改メルツデスナ

○小山松壽君 サウデス、其次ニ一條ヲ設ケマス、第十條ニ當リマス、内務大臣ノ指定スル都市計畫事業ニ對シテハ國庫ヨリ其ノ費用ノ一部ヲ補助スルコトヲ得、ト此條文ヲ加ヘマシテ、本案ノ第十條ハ順次繰下ゲルト云フコトニ修正意見ヲ提出致シマス、何卒諸君ノ御質問ヲ請ヒタイト思ヒマス

○「贊成」ト呼フ者アリ

○前田米藏君 私ハ政府ノ原案ニ贊成ノ意ヲ表シマシテ、修正案ニ反對ノ意ヲ述ベタイト思ヒマス、第九條ヲ修正シテ國有土地ト云フ風ニ範圍ヲ擴ゲタイト云フ御希望デアリマス、御尤デゴザイマス、本年衆議院ニ於テ協賛ヲ與ヘマシタ豫算中ニモ、既ニ國有財產ノ土地ニ就テノ調査並ニ利用方法ニ就キマシテ、委員會ヲ設ケテ、其委員會ニ於テ調査若クハ利用方法モ研究スル事ニナッテ居ル今日デアリマス、先ヅ沿革上此河岸地ノ斯様ニシテ置キマシテ、其他ノ規定ハ決定ヲ待チマシテ、然ル後ニ政府ニ於テ相當ナル處置ヲ執ル、コトハ、今日トシテ至當ナル事ト考ヘルデアリマス、又其次ニ此都市計畫法ニ付キマシテノ費用ノ一部ヲ補助スルコトヲ得ト云フコトデアリマス、此點ニ就テハ再三再四政府委員ニ於テ説明ガアリマシタ通り、補助スルコトヲ得、デアリマス以上ハ、今マデニ於テ港灣或ハ水道等ニ就テモ左様ナ規定ガ無クテモ補助ヲシテ居ルノデアリマス、又豫算ニ於テモ左様ニ提案ヲ致シタナラバ、ソレト同様ナ結果ヲ生ズルノデアリマス、ソレデアリマス、カ「得」ト云フヤウナ生溫イ規定ヲ設ケルコトニ依リテ、ドレダケノ利益ガアルカト云フコトヲ疑フノデアリマス、故ニ斯様ナ規定ヲ設ケヌデモ差支ナク、小山君ノ御希望ガ達セラレルノデアリマス、此法律ノ規定ニ依リテ大體ノ趣旨ニ於テハ私共ハ小山君ノ趣旨ニハ反對ヲスル者デハナイケレドモ、此法律ノ規定ノ上カラ斯様ナ規定ヲ設ケヌデモ宜カラウト云フ所カラ反對ヲ致シマス

○白河次郎君 私モ原案ニ贊成スル者デアリマス、修正ノ御意見——唯今ノ前田君ノ申サレマシタ如ク、御趣旨ニハ同感ノ意ヲ表シマス、併シ補助スルコトヲ得トカ、下付スルコトヲ得ト云フヤウナコトデハ、法律上ノ效果ガ少ナイン、ドウシテモ内務大臣ノ御盡力ヲ得ネバ、サウ云フ風ニシテ掲ゲテモ役ニ立タヌト思フデアリマス、サウスレバ是ハ内務大臣ガ盡力ヲスルト云フ事ヲ信ジテ差支ナカラウト存ジマス、其御趣旨ハ御尤デアリマス、ケレドモ、之ハ委員長ヨリ議場ニ御報告シタル際ニハ、委員會ニ於テハ斯ウ云フ希望ガアッタト云フ事モ合セテ報告ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ命令就テハ贊成ヲ致シマス、此組織ニ就テ市會議員カラ出タ者、是ハ市長ガ薦選スルト云フ組織デアリマシタカ、今回ハ市會選舉スルト云フコトデ贊成スルモノデアリマス、カ、是非彼ノ命令ノ通りニ願ヒタイト思ヒマス、尙又市街地建築物法案ノ適用モ、成ルベク廣ク適用サレマシテ十四條ノ病院、學校、集會所ト云フヤウナ建築物ノ方法ニ就テノ規定ト云フヤウナモノハ、成ルベク多ク市街地ニ法律ノ全部若クハ一部ヲ適用スルコトヲ希望致シマス、一寸贊成ノ趣

旨ヲ...

○高木正年君 私ハ小山君ノ説ニ賛成ノ意見ヲ申述ベテ置キタイト思ヒマス、極メテ簡單ニ申シマス、小山君カラ修正案トシテ申上ゲタ事ハ、是非共都市計畫法ニ規定シテ置キタイト思ヒマス、私共深ク現内務大臣床次君ニハ希望ヲ囑シテ居ル、又極メテ敬意ヲ表シ且ツ過日來ノ御發言ニ就テハ確ク其事ノ事實ニ現ハレルコトヲ信ジテ居ルニ相違アリマセヌガ、併ナガラ斯ル法案ニ對スル事柄ト云フモノハ單ニ其時ノ大臣ノ意思ノミヲ以テ永ク法案ノ上ニ現ルベキ保障ヲ得ルモノトハ私共考ヘテ居ラヌノデス、唯今何誰デアリマシタカ御名前ヲ聽キ漏シマシタガ、現ニ賛成ノ御意見ガアリマシタ中ニ、官有地ノ處分ニ就テハソレノ委員モ出來テ居ルト云フ御話モアリマシタケレドモ、是ハ我國一般ノ官有財産ノ上ニ起ルベキ事柄デ、東京市ノ如キ、或ハ大阪市ノ如キ、京都市ナリ、横濱市ナリ、名古屋ナリ神戸ナリニ於キマシテ、新タニ此計畫ヲ敷ク上ニ付テハ何等カノ財源ガ無ケレバ到底ヤリ切レルモノデハナイ、既ニ東京ノ如キモ河岸地ガ皆東京市區改正ヲ行フ場合ニ下附ニナツタ、今日デハ財源トシテ何ニモナラヌ、併ナガラ大都ノ地ニハ或ハ陸軍ノ用地其他ノモノガ、今日其儘ニナツテ何等利用ノ無イモノガアリマヌノデ、ソレガ大都市計畫ノ財産ニナリ得ルノデス、床次内務大臣ヲシテ百年ノ間其政策ヲ御實行ニナルマデ永ク御在職ニナラムコトヲ、吾々希望シテ居リマスケレドモ、其事ハ到底望ミ得ルコトデハナイ、現ニ道路法案ニ就キマシテモ前内閣ハ毎年三百萬圓ヲ國道ノ上ニ費スト云フコトノ御決心ヲサレタコトモ聞キ及ンデ居ル、所ガ内閣ガ變ルト今年ハ僅カ五十萬圓シカ出ナイト云フコトニナツテ居ル、矢張床次内務大臣ノ過日來吾々ニ御答ニナツコトヲ、永ク國民ノ上ニ餘慶アラシメルニハ、寧ろ法案ノ上ニ規定シテ置イテ、サウシテ都市計畫ヲ完全ニスルト云フコトガ、頗ル宜シイコトデアラウト思ヒマス、今彼都市ノ計畫ニ就テハ容易ニ財源ヲ得ルコトハ出來マセヌ、而モ其費スベキ所ノモノハ殆ド數ヘ知ラレヌ位ノ多額ノ金額ヲ要スルノデアリマスカラ、勢ヒ斯ル修正ヲ此法案ガ認メテ御通過ニナルダケノ御決心ガナケレバ、決シテ都市計畫ハ満足ニ出來ルモノデハナイト信ジマス、ドウゾ小山君ノ修正説ニ對シテハ、趣意ニ於テ御反對デモナイヤウデスカラ、之ヲ文章ノ上ニ現ハスト云フコトニ就テモ強イテ御反對ヲ表セラレズ、ドウゾ都市計畫ヲ完全ニ遂行ノ出來ルヤウニ小山君ノ説ノ成立スルコトニ就テ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス

○河野徹志君 私ハ前田君ノ原案賛成説ニ賛成致シマスト同時ニ、唯今白河君カラ御述ニナリマシタ希望條件ニ賛成デアリマス、殊ニ此當局者カラ御示ニナリマシタ都市計畫法案委任命令事項ト云フ草案ノニ依ルト從來ノ市區改正條例ノ委員ノ任命ノ規定デハ、市長ガ市會議員ヲ推薦スルト云フコトニナツテ居リマス、此草案ニ依ルト市會ガ之ヲ選舉スルコトニナツテ居リマス、ドウカ此趣意ヲ命令ヲ出サレル時分ニ十分ニ徹底サレンコトヲ希望致シマシテ、原案ニ賛成ヲ致シマス同時ニ、白河君ノ希望條件ニ賛成致シマス

○白河次郎君 私ノ述ベマシタ希望ハ希望條件トシテ決議ヲ願ヒタイト云フ譯デハナク、唯、若シ委員長ガ滿場サウ云フヤウナ意見ガアリマシタヤウニ御認メニナリマシタラ、議場ニ御報告ノ時分ニ御述ヲ願ヒタイト申シタノデス

○河野徹志君 私ガ白河君ノ御意見ヲ條件ト聽キマシタノハ私ノ聽キ間違デ、私ハ白河君ト同意見デアリマスカラ、訂正ヲ致シテ置キマス

○横山勝太郎君 極メテ簡單ニ申上ゲマス、私ハ小山君ノ修正ノ説ニ賛成ヲ致シマス、其理由ハ過日道路法案ノ委員會ニ於テ政府ヨリ御發表ニ相成リマシタ、都市計畫法案ノ原案デス、之ヲ拜見致シマスルニ、其第八條ニハ「都市計畫區域内ニ存スル國有土地ニシテ公用ニ供セサルモノハ全部又ハ一部ヲ都市計畫事業ノ費用ヲ負擔スル者ニ下附スルコトヲ得」第九條ニハ「内務大臣ノ特ニ指定スル都市計畫事業ニ對シテハ國庫ヨリ其ノ費用ノ一部ヲ補助スルコトヲ得」ト云フ規定ガゴザイマス、要スルニ吾々ハ此趣旨ニヤツテ戴キタイト云フコトガ骨子デアリマス、此間道路法案ノ時分ニハ、斯ウ云フモノヲ御發表ニナツテ折角此第八條、第九條ニ依ツテ立派ナ明文ガ有ツタノデスカラ、都市計畫法案ヲ議スルニ當テハ是ダ省クト云フ理由ハ無イ、矢張原案ノ通り、之ヲ御附加ヘ下サルコトヲ希望スル、唯、前田君ノ御説ニ依ルト「得」ト云フコトデハ生溫イト云フ御説デアリマスカ、併ナガラ都市計畫法案其者ガ既ニサウ云フ法律ナノデス、皆「ナスコトヲ得」トナツテ居ル、單リ此八條九條ニ限ツテ「得」ト云フコトデハ生溫イト云フコトハ理由ニナラヌト思フ、都市計畫法案其者ガ總テ「ナスコトヲ得」トナツテ居ル、從テ下渡ス國有土地ノコトニ就テモ補助ノコトニ付テモ「得」ト云フ體裁ニナルノガ當然デアル、サウシテ吾々ガ心配致シマスノハ斯ウ云フモノガ原案ニ有ツタノガ省カレルト云フコトニナリマス、政府デハ河岸ホカ下ゲテ吳レヌノデアラウト云フ疑ヲ起ス、ソレカラ又補助ハシテ吳レヌノデアラウト云フ疑ガ起テ來マス、反對デナケレバ宜シイガ、一旦有ツタモノヲ削ルト云フコトニナルト、反對ニ解釋スル者ガ出テ來ルト思ヒマス、サウ云フ次第デアリマスノデ、私ハ修正ノ通り即チ政府ノ古イ意思ニ賛成スルノデス、決シテ故ラニ辭ヲ構ヘテ、彼此申スト云フ次第デアリマセヌ、元

ノ原案ノ通りニシテ戴キタイト云フ趣旨デアリマスカラ、其趣意ヲ御採決ヲ願ヒマス

〔採決〕ト呼フ者アリ

○委員長(法學博士小山溫君) 付託セラレタ案ハ都市計畫法ト市街地建築物法ト二ツデアリマス、討論ハ今ノ二ツニ就テ御發言ニナツテ居ル積デスカラ宜シウゴザイマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(法學博士小山溫君) サウスル下原案賛成ト云フノハ兩案共ニト云フ意味デスカ、サウスルト、モウ討論ガアリマセヌカラ決ヲ採リマス、先ツ都市計畫法ニ付テ小山君ノ修正説ガゴザイマスカラ、修正説カラ採リマス、第九條中「國有河岸地」ノ「河岸」ノ二字ヲ「土」ト云フ字ニ改メテ「國有土地」ト云フコトニ修正スル、此小山君ノ説ニ賛成ノ方ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○委員長(法學博士小山溫君) 少數否決、ソレカラモウ一ツ九條ノ次ニ一箇條ヲ加ヘル、第十條トナリマス、「内務大臣ノ特ニ指定スル都市計畫事業ニ對シテハ國庫ヨリ其費用ノ一部ヲ補助スルコトヲ得」此一箇條ヲ挿入スルト云フ提議デアリマス、之ニ御賛成ノ諸君ノ御起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○委員長(法學博士小山溫君) 矢張九名少數否決——他ハ兩案共ニ原案ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(法學博士小山溫君) ソレデハ原案通り可決致シマシタ

○小山松壽君 本會ニ於テ少數意見ヲ述ベマスルコトヲ保留致シテ置キマス

○委員長(法學博士小山溫君) ソレカラ都合ニ依リマスト、本日議事日程ノ變更ヲシテ議スルコトニ致シタイト思ヒマスガ、如何デスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(法學博士小山溫君) ソレデハ是デ散會午後零時十二分散會

大正八年四月十六日印刷

大正八年四月十七日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局